

夜間学校 ニュース

1989年 6月 30日
 西成区萩之茶屋2-8-9
 旅路の里気付
 釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の
 指紋押なつ拒否断固支持！
 定住外国人に市民権を！

みんなで つくろう

みんなの 会館

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

三人よれば 何とかの 知恵

日本の戦後を色どつた

美空ひばりさんの死と

アジア諸国の戦後と日本

突然、なんの脈絡もなく、ベトナム難民の新聞記事を転載。これは、いったい、なんだ、と、思った仲間も多いかと思つた。別に深い考えがあつたの、ことではない。美空ひばりさんが死んで、なつかしい唄をたくさん聞いて、小さいころのことを思い出し、また、テレビで敗戦後の日本の様子が写し

出されたのをみて、戦後四十二年、繁栄する日本の「政治ドラマ劇」が太ましいと感じられた。韓国の戦後は、三十八年、中国の戦後は、四十年、ベトナムの戦後はわずか十六年。中国、ベトナムの戦後は、局地戦を入れると、もっと短くも教えられる。アジアを戦場としてかき

まわした日本の「戦後」が一番長く、また経済的にも「繁栄」している。その「繁栄」は、朝鮮戦争やベトナム戦争のおかげでもある。釜の仲間にも、戦争の影響をこうあつた先輩が「大したこと思つたが、くだらぬ大局観や国家利益などに振りまわされ、泣かされるのは、どこの国でも、黙々と働いて、社会を現実的に支え、動かす錢々と同じ庶民だ。難民、出稼ぎ、それらを受け入れる責任が日本にある。そして、錢々の生活を成たせる責任も...

仲間の死

本籍、住所、氏名不詳、年齢40と45歳の男、身長165センチ、中肉、口及びアゴヒゲ、着衣紺色作業上衣、草色ズボン、トビタビ、遺留金品なし。右の者は、昭和62年1月11日午前5時27分ごろ、西成区萩之茶屋1-10-20喫茶フルフル前路上にて発見されたもので、同日午前1時(推定)、同所において化膿性肺炎のため死亡したものと思われる。身柄引取人不明につき、検視部へのうえ、地裁場に

